

# 奥会津だより

第43号

2007年初秋

今も暮らしに生きる道具をシリーズで紹介しします。-No.8 トウミ(唐箕)とカワミ(皮箕)-

トウミ(唐箕)とカワミ(皮箕)

ソバや大豆などの雑穀類が収穫期を迎えた。これらの選別には、古くから使われてきたトウミが今も活躍する。金山町の大志地区では、集落協働でソバを栽培し、収穫も協働で行なっている。

回転させて風を送ると、実の入った良質のものと手作業で選別しなければならぬものに振り分けられ、殻やゴミは吹き出される。それぞれ異なる出口が設けられており、実に機能的だ。選別したものを集めたり、トウミに入れる道具にはカワミが用いられている。カワミは手作業で選別する際には欠かせない道具で、揺すりながら息を吹きかけると、軽いものが飛ばされて良質のものが残る仕掛けだ。

「いいものとシイナとに分けるには、トウミがなにも使いやすいのや」  
手を休めずに語る人々は、収穫と協働の喜びに笑顔が輝いている。

どんぐりのぼうしをゆびにのせてみる

猪俣由紀子さん(柳津小)





# なつかしい風景

◆今に続く暮らし

写真・説明 竹島善一

昭和40年代後半より現在まで、奥会津各地の暮らしを写真で記録している。(東京在住)



(南会津町南郷・昭和55年8月)

母屋の屋根にはトタンをかけても、納屋は茅葺のままという改築修理の手順があった。屋根の上のグシには草花を配して化粧する。実利はもちろんだが、それのみではない遊び心がある。



(南会津町南郷・昭和56年8月)

盛夏の屋下がり、庭先の草花に水を注ぐ。人と植物が一緒に時節を過ごして生きて行く。生き物としての共感と共に花を愛でる姿に、平和のもたらす豊かな風景を見る。

川と峠は村境、国境であった。向こう岸へ行くことは他所へ行くことである。二つの岸を結ぶのが橋である。橋の開通式で三世代夫婦が渡り初めをするのは、この橋が世代の架け橋にとの祈念であろう。

今の只見川は川というより湖だが、ここに架かる橋は広い川幅を一気に跨ぐ。その昔、この川を越えるには谷を下り、対岸では登ったことだったろう。奥会津の街道を歩くと、昔の吊り橋の支柱が幾つか残っていて、かつての往来の姿をしのぶことができる。伊南川では荒島と榎戸に、只見川は橋立温泉と伊南川発電所の上流に長大なスパンの吊り橋があった。吊り橋はいかにも兩岸を結ぶ、の感がある。

## 奥会津

### つれづれ

只見線に乗った。ディーゼル車特有の匂い。暑さの中、扇風機が回る。乗客もまばらなボックス席。何故だか、懐かしい気持ちになる。子供の頃に思いを馳せる。妹が産まれた時、父と二人で乗ったこと。小学生の時、二駅先の友達の家まで行ったこと。中学生の時、隣の歯科へ通ったこと。高校生の時、友達同士で会津若松へ出かけたこと。乗るのが楽しかった。駅名を順番に詰るんじることが出来た。いろいろなことが思い出される。この頃は上下線とも本数が多かったのが、よく利用していたように思う。今は自動車での移動ばかりで、乗る機会が、あまりない。

進行方向に向かって座っていると、開いた窓からの風が心地よい。窓から目に入ってくるのは、緑の木々、川、対岸に見える山々、家並み、そして日々の暮らし。線路脇にはススキが多い。列車が通ると体全体を揺らす。この光景が秋の気配を感じさせる。のんびりとした列車の旅、季節を目で肌で感じるができる。

今夏のうだるような暑さが過ぎ、奥会津は一気に秋へ、そして紅葉の時期へと入っていく。(み)

越後と会津を結ぶ道は古くから二つ開かれていた。一つは越後の吉ヶ平と会津の叶津を結ぶ六十里越の道で、もう一つは越後の大白川から只見を結んだ六十里越の道だ。いずれも険しい山道故に、実際の距離より10倍近く険しく感じたことから八十里、六十里と名付けられている。

昭和46年に国鉄只見線が開通したが、昭和48年には六十里越の自動車道が開通し、馬も通らなないと云われた六十里越が自動車で通れるようになった。その道はその後、国道252号線に編入されている。

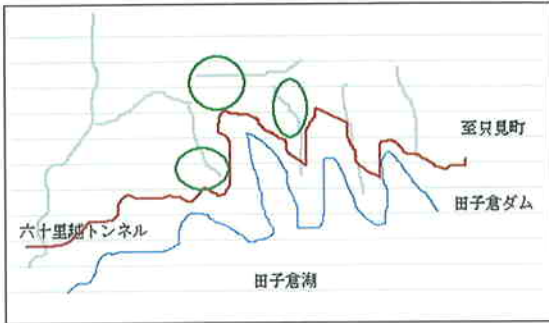
豪雪地帯の険しい山道を通る道なので、冬季は通行止めになるが、それだけに周囲の自然は手つかずのまま残っている。特に福島県側は自然度の高いブナ原生林に覆

われている。ただ、ブナ林には道が付いていないので車道から遠望することになる。春から夏にかけては山の木々は緑葉に覆われていて、遠くから眺めるだけでは樹の種類は定かではない。しかし植物は紅葉すると葉はその樹特有の色に染まる。

ブナ林内には多くの植物が共存しているので、ブナ林の紅葉は多彩な色に染まる。それゆえ六十里越の道からの景観は紅葉の時期が最も美しい。六十里越の道は紅葉の名所として知られているが、ブナ林の紅葉だから一際美しいのだろう。多くの人が車を止めて、山の斜面を見上げて、その美しい紅葉に歓声をあげ記念写真を撮影している。歩くことなくこんな見事なブナ林の紅葉が見られるのは山の斜面だけではない。眼下には広大な田子倉湖が見下ろせる。移動するにつれて湖の様子もクルクルと変わる。しかも田子倉湖を囲む斜面も色とりどりに紅葉して、実に見事な景観だ。湖の広大な広がりには開放感を感じさせる。人間はこんな広大な展望を見るとそれだけで気分が壮大になるらしい。新潟県側にはいるとブナは少なくなり、あつても細い樹ばかりだ。



六十里越



◆ 著者プロフィール  
1942年生まれ。ブナをライフワークテーマとする。日本全国約500ヶ所のブナ林を訪ね歩いてきて、「ブナの山旅」(山と溪谷社)を出版。会社生活を卒業後は、ブナライフに徹するために生活拠点を会津若松市に移し、奥会津や東北各地のブナ林巡りを続けている。

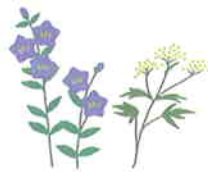


手遊びの唄は、とりわけ女の子の子の中でいねいに伝承されてきた。手鞠やお手玉などの素朴な遊具は、いつも唄を纏っていた。

手あそび(手振り) うた

一かけ 二かけて 三かけて  
四かけて 五かけて 橋をかけ  
橋のらんかん 手を腰に  
はるか向こうをながむれば  
十七、八の姉さんが  
片手に花持ち 線香もち  
もしもし 姉さんどこゆくの  
私は九州鹿児島島 西郷隆盛娘です  
明治十年十月三日 切腹なされた父親の  
お墓まいりに まいります  
お墓の前で 手を合わせ  
ナミアムダブツと おがみます  
おがんだあとの 魂は  
ふわりふわりと じゃんけんぼん

伝承者・只見町 栗城勝子(62歳)





# 方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を買おう!

問題: 次の方言の意味は何でしょう?

「シイナ」

ヒント: 表紙を参照

正解者の中から抽選で1名様に、昭和村の地場産品をプレゼントいたします。

●応募方法: 官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先: 〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979 奥会津書房宛

●応募締切: 2007年9月30日消印有効

\*当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

※クイズの答えは次号44号で発表いたします。

◎42号「びっき」の答え: カエル たくさんのご応募ありがとうございました!

## 秋の企画展「はぬいっこ袋展」

昭和村には、はぬいっこ袋という巾着袋があります。仕事着や縮入れなどを作った残り布を大切に縫い合わせ麻のひもを通した袋です。布と布をひとつにし、心と心をつなぐ助け合いの袋。色とりどりのはぬいっこ袋と人々の暮らしを紹介いたします。(9月17日に昔語り、10月8日に講演会が行われます。)

会期: 平成19年9月1日(土)~10月28日(日)

●午前9時から午後5時まで

●高校生以上300円/小中学生150円(団体割引有り)

●からむし工芸博物館 ☎0241(58)1677

昭和村 からむし織の里「からむし工芸博物館」



原も、霧が立ち込める風景も、一度足を運ぶと、今度は違う顔を見たくなる、また行きたいと思わせてくれるところだろう。加えて、少し植物の名前を覚えると、もつと知りたくなる。子供のよう純粋な気持ちで、尾瀬はもう、秋の準備を始めている。草紅葉と呼ばれ、草原が黄金に輝く時期はもうすぐ。そして、針葉樹の緑、広葉樹の赤と黄色の絶妙なバランス。



草紅葉広がる尾瀬 (9月中旬~下旬)



ニッコウキスゲの尾瀬(7月中旬)

8月末に尾瀬国立公園が新設され、改めて脚光を浴びている尾瀬。尾瀬の魅力とは、日本有数の高層層原であったり、四季を通じた雄大な自然である。フイトンチツドの林を抜け、目の前に広がる雄大な自然。可憐な花々。優しい景色。爽やかな風と澄んだ空気。青空の下はもちろん、雨に濡れた湿気。爽やかな風と澄んだ空気。青空の下はもちろん、雨に濡れた湿気。

地元記者の

## 目

尾瀬国立公園新設!  
身近な尾瀬へ



奥会津だより地元記者 檜枝岐村 平野亜由美

## 9月 10月 11月 奥会津イベント情報

### 柳津町 西山温泉ます釣り大会

西山温泉は只見川の支流である滝谷川沿いに開けた温泉郷。その自然豊かな滝谷川で行われるマス釣り大会。釣りの後は秘湯「西山温泉」にのんびり浸かって休んでください。

◆日時 平成19年9月16日(日)  
午前7時00分開始(受付は午前6時00分から)

◆場所 西山温泉(滝谷川)

◆参加料 一般2,000円/中学生1,500円/小学生800円

◆問合せ 西山温泉旅館組合 旅館中ノ湯 ☎0241(43)2424

### 檜枝岐村 地元の人と行く「会津駒ヶ岳秋山トレック」

◆日時 平成19年9月25日(火) 午前7時00分 場所 檜枝岐村滝沢登山口

◆参加料 お一人様2,000円(保険料含む) ◆定員 50名(要予約)

◆問合せ 尾瀬檜枝岐観光案内所 ☎0241(75)2432

### 伊南町 伊南川古町温泉あゆまつり

古町温泉において、鮎会席料理、鮎つかみ他伊南川の鮎三昧、さらに秋野菜、きのこ、新米ほか伊南の秋の味覚も満載。出店も多数出店します。

◆日時 平成19年9月29日(土) 午前10時から午後4時まで

◆場所 南会津町古町 古町温泉特設会場

◆参加料 鮎会席(3,500円)※事前予約必要 ◆問合せ 伊南観光協会 ☎0241(76)2214

### 奥会津町 森林の分校ふざわ「稲刈り」

秋の空の下、稲刈り体験してみませんか。  
※参加者には収穫したお米(お一人様5kg)を後日お送りします。

◆日時 平成19年9月29日(土)~30日(日) ※イベントのみの場合 平成19年9月30日(日) 29日(土)16時チェックイン/30日(日)9時稲刈り(イベントのみ参加者はここから)

◆場所 森林の分校ふざわ

◆参加料 宿泊参加者:大人10,000円/小学生8,000円(一泊二食、昼食代含む)  
イベントのみ:大人5,000円/小学生4,000円(昼食代含む)

◆定員 宿泊参加者をご家族あるいは数人のグループとし、1グループ4人以上とさせていただきます。イベントのみ参加者は1人でも参加できます。

◆問合せ 森林の里応援団 ☎0241(71)9511

### 檜枝岐村 地元の人と行く「麓ヶ岳秋山トレック」

◆日時 平成19年10月1日(月) 午前7時出発 ◆場所 御池登山口(駐車場奥)

◆参加料 2,000円 ◆定員 村内宿泊者限定50名様 ※要予約

◆問合せ 尾瀬檜枝岐観光案内所 ☎0241(75)2432

### 只見町 第45回只見町駅伝競走大会

◆日時 平成19年10月7日(日) 午前10時スタート

◆問合せ 只見町教育委員会 ☎0241(82)5320

### 三島町 会津地鶏まつり

三島町の特産「会津地鶏」を満喫するイベント。バーベキューコーナーでは地鶏1羽分をまるごと味わえる。

◆日時 平成19年10月7日(日) 午前10時から午後3時まで

◆場所 三島町 美坂高原

◆参加料 1口3,500円 ◆定員 150口

◆問合せ 三島町産業建設課産産係 ☎0241(48)5533

◆メール sangyou@town.mishima.fukushima.jp

### 金山町 奥会津アイリッシュコンサート

伝説の笛吹きショーン・ライアンと守安功、守安雅子の奏でるアイリッシュ伝統音楽です。湖畔の森の音楽会に心に響く音楽をお届けします。

◆日時 平成19年10月13日(土) 会場13:00 開演14:00 終演16:30

◆場所 金山町沼沢湖畔 妖精美術館

◆入場料 前売券2,000円/当日券2,500円 ◆定員 60名程度

◆問合せ 会津愛蘭士音楽会 <http://www.merryland.aizu.or.jp/aimu/>  
食工房(青木) ☎0241(38)3102 手づくり工房あるぼる(阿部) ☎0241(55)3252

◆メール chacha@merryland.aizu.or.jp

### 南会津町 第22回ゴーマン杯 ふるさと健康マラソン大会

ボストンマラソンで2回優勝するなど日本の女性マラソンランナーの第1人者として活躍されたゴーマン美智子さんが小中学生時代を過ごした館岩の地で、その活躍をたたえとともに、地域住民と都市住民の交流、健康と体力づくりを実施しています。

◆日時 平成19年10月14日(日) 競技開始 午前9時45分~

◆場所 館岩グラウンド スタート・ゴール 国道352号線・奥会津山館岩線(日本陸上競技連盟公認コース)

◆参加料 小学生1,500円/一般男女3,000円/男女ペア6,000円(2人分)

◆部門 小学生(1.5km~2km)男女学年別6部門/中学生(3km)男女別2部門  
一般男子・女子(5km~ハーフ)6部門/男女ペア(3km)1部門

◆問合せ ゴーマン杯ふるさと健康マラソン大会実行委員会 館岩観光協会 ☎0241(78)2546

### 金山町 奥会津ごっつおまつり

新そばや秋の味覚を中心に、奥会津の郷土食に舌鼓を打ちながら、新そば早食い大会や紙ひこうき飛ばし大会等たくさんイベントに参加して楽しみいただくイベントです。

◆日時 平成19年10月27日(土)、28日(日)  
両日とも午前10時から午後4時まで

◆場所 金山町中川 金山町民体育館周辺

◆問合せ 金山町役場地域振興課商工観光係 ☎0241(54)5327

◆メール kanko@town.kaneyama.fukushima.jp

### 柳津町 第7回 歴史と文化のやないづウォーク

道の駅「会津柳津」をスタート・ゴールとした園蔵寺周辺を歩く7kmと只見川周辺を歩く10kmのコース。自分の体力にあわせて楽しくゆっくり秋の柳津路を歩こう!

◆日時 平成19年10月28日(日)  
受付開始/午前8:30~ スタート/午前10:00

◆場所 道の駅「会津柳津」

◆参加料 500円(高校生以下無料)

◆問合せ 歴史と文化のやないづウォーク実行委員会 (柳津町役場観光工務課) ☎0241(42)2114

◆メール yanaizu@town.yanaizu.fukushima.jp

### 三島町 会津の編み組む工芸品展

ヤマブドウ、ヒロロ、マクタブ、竹、アケビなど、会津に伝承されてきた編み組というもののづくりの文化を集め、展示します。

◆日時 平成19年10月20日(土)、21日(日)  
午前9時から午後4時まで

◆場所 三島町交流センター山びこ

◆問合せ 三島町生活工芸館 ☎0241(48)5502

◆メール kougeikan@town.mishima.fukushima.jp

### 只見町 只見町文化祭

◆日時 平成19年11月3日(土)、4日(日) ◆場所 只見地区センター

◆問合せ 只見町教育委員会 ☎0241(82)5320

### 昭和村 昭和村秋味まつり

秋の味覚である新そば・きのこ料理など各種御馳走(食べ放題もあり!)のほか、旬の味覚が当たる抽選などのイベントもご用意してお待ちしております。

◆日時 平成19年11月4日(日) 予定 正午から午後2時まで

◆場所 しらかば会館(昭和温泉となり)

◆参加料 大人3,000円(中学生以上)/子ども2,000円

◆定員 完全予約制 120名

◆問合せ 昭和村秋味まつり実行委員会 ☎0241(57)3100(昭和村商工会内)

### 檜枝岐村 新そば祭り

◆日時 平成19年11月10日(土) 午後5時から午後7時まで

◆場所 尾瀬の郷交流センター

◆参加料 大人3,000円/子ども2,500円(飲み物は別料金)

◆定員 500名 ※要予約

◆問合せ 尾瀬檜枝岐温泉観光案内所 ☎0241(75)2432

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。